

**令和4年度 第1回 那須野が原開拓日本遺産活用推進協議会 総会
(要旨)**

- **日 時** 令和4年7月4日(月) 午前10時から午前10時45分まで
- **場 所** 那須塩原市役所西那須野庁舎 301～303 会議室、Zoom
- **出席者** 会員15名、事務局14名
- **欠席者** 会員5名

1. 開会

2. あいさつ 那須塩原市長、大田原市長

3. 協議事項

(1) 役員を選出について【資料1】

- 資料に基づき、事務局より役員案提出

会 長 那須塩原市長

副会長 大田原市長、矢板市長、那須町長

監 事 那須町商工会長、矢板市観光協会長

(※監事は大田原市、矢板市、那須町で1年ごとの持ち回り)

⇒ 承認

(2) 令和3年度事業報告及び収支決算報告について【資料2-1、2-2、資料3】

- 資料に基づき事務局から説明

【質疑】

渡辺会長：ポタリングについてはどういった意見があったか。

事務局：特段意見はなかったが、文化財を通りつつ、危なくなく、さらにわかりやすい道を通るとい
うことで、コースの設定が難しかった。

⇒ 承認

(3) 令和4年度事業計画及び収支予算案について【資料4-1、4-2、資料5】

- 資料に基づき事務局から説明

【質疑】

星野専務理事：マスクケース付きマスクとあるが、長期的なものではないので、制作数にもよるがアベノマ

スクの二の舞にならないように努めていただきたい。

事務局： 制作数は3000～4000である。マスクケースが使い捨てのものではないため、マスクケース以外にも用途がある。那須町で大変好評だと推薦いただいた。3000～4000であれば、日本遺産フェスティバルや構成市町のイベントで早めに配れると思う。

星野専務理事： あまり納得しかねるが、過去の状況からみるとウイルスは約3年くらいであり、今回のコロナがどれくらいか予測はつかないが、本当に活用して下さるのか心配である。

渡辺会長： どのくらいから配布できるのか。

事務局： 10月29日に関門海峡で日本遺産フェスティバルが開催される予定であり、そこから配布したい。

渡辺会長： 那須塩原市が開催するONSEN ガストロミーウォーキングで配布できるのか。

事務局： 可能である。今年度イベント等が再開されているので、那須塩原市および構成市町で開催するイベント等で活用いただきたい。

渡辺会長： そうであれば、この枚数ならば今年度中に配布可能であり、何年も残ることはない。

相馬副会長： ストーリーブックについて、子ども達にもわかりやすくということだが、史跡にターゲットをあてているのか、人物がいなければこういった史跡もつられなかつただろうし、人物、史跡がどうつながっていくのかということがこのストーリーブックにはあるのか。

事務局： 絵本編は物語的になるが、構成文化財を登場させて、子ども達にどう興味を持ってもらうかは今年度構成を練るところである。昨年度の図鑑編において、構成文化財はもとより、関わった華族や、構成文化財の成り立ちの核となるような紹介を行っている。

相馬副会長： 大田原は数は多くないが、那須基線の南端点があつたり、北端点と南端点を結ぶ縦道が本州一長いことなど特徴がある地域なので、紹介だけでなく、那須基線は日本測量の発祥の地というような意味合いで捉えても面白いのではないか。そういった史跡をどう活用していったらいいかということも今後提案していきたいと思う。

渡辺会長： 以前事務局が私に見せた鬼（日本遺産くにさき）をテーマとした本は物語調のもので、ハコありきではなく、人と鬼との歴史みたいなものが書かれており、わかりやすかった。小学校高学年向けなので、あまり細かくは書けないと思うが、鬼の本はわかりやすく作られていたので、そのような感じでできると良いと思う。

⇒ 承認

（４）その他【資料なし】

- 令和5年度の事業について

事務局会議で協議を行い、候補として、構成文化財のイルミネーションや、デジタルスタンプラリーのような周遊系の事業、サイクルマップやストーリーブックを活用した事業が上がっている。当初予算編成までに検討を進めたい。

● 令和4年度第2回総会について

日程：令和5年2月3日（金）午後1時30分から

場所：那須塩原市役所西那須野庁舎 ※状況によりオンライン会議もしくは書面開催

【質疑】

渡辺会長： ONSEN ガストロノミーウォーキングを一昨年から実施しており、日本遺産に組み合わせ、那須野が原のおいしい食材を提供し、歩き、那須野が原開拓の歴史を知ってもらいつつ、ご飯を食べてもらう。一昨年から開催しているが、ONSEN ガストロノミーファンの方もいて、県外からも多くの方にお越しいただいた。板室、塩原と開催し、今年は西那須野で開催する。今後、日本遺産の構成自治体で取り組んでいただければ良いと思う。今年11月に開催予定なので、関心のある方はぜひ出席いただきたい。

ポタリングの今後の具体的な計画は決まっているのか。

事務局： 商工観光課で実施している事業で、いくつか事業の提案をいただいている。今後検討となる。

渡辺会長： 自転車と食以外に何か活用したイベントはあるのか。

事務局： ストーリーブックを活用したパネル展や絵画コンクールなどを図書館等で開催したり、大礼服の貸出を開始したいと考えている。

齋藤副会長： 日本遺産については、インバウンドも視野に入れた観光客誘致が必要だと思うが、構成文化財に矢板のリングや那須塩原市のワインがある。これからさらに広がり考えるときに、構成文化財以外にも、これというものがあれば発掘し、私たちなりに磨き上げをし、周遊する際に取り上げてもらえるとう有難い。

ポタリングの話があったが、この3市1町でサイクルツーリズムの協議会を持っている。以前は地方創生推進交付金があり、補助で実施していたが、補助がなくなってから、コロナ禍ということもあり、活動が見えなくなった。そうした中で、この3市1町の枠組みで日本遺産とサイクルツーリズムの推進を組み合わせることも可能なのかと思う。教育委員会、生涯学習課だけではなく、経済、商工サイドにも入っていただいている協議会なので、観光面も伸ばし、矢板の観光ガイド等の出番をつくっていただければと思う。

渡辺会長： 食材について、私は ONSEN ガストロノミーの時は、必ずチーズフォンデュをつくってもらっている。構成文化財に入っていない食材も今後発掘していきたいと思う。ポタリングについ

て、ぐるとちがあつたが、県外からの参加者も多い。県から那須塩原市をコースにしたいと言われた時には日本遺産に接するようなコースにするよう申し上げている。県の事業はもちろんだが、日本遺産を共有する市町で連携するのも良いと思う。

4. その他

5. 閉会